



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 ソフトバンク・テクノロジー株式会社
コード番号 4726 URL <http://www.softbanktech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 阿多 親市

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO 管理統括 (氏名) 長田 隆明

TEL 03-6892-3063

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	19,640	△0.2	650	13.5	645	19.3	345	4.5
27年3月期第2四半期	19,678	20.8	572	0.4	541	△7.3	330	1.8

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 266百万円 (△29.3%) 27年3月期第2四半期 377百万円 (△3.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第2四半期	35.59	35.27
27年3月期第2四半期	34.13	33.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年3月期第2四半期	21,219	10,846	48.3	1,054.54
27年3月期	22,175	10,974	46.0	1,052.58

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 10,244百万円 27年3月期 10,208百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	42,000	5.5	1,700	21.5	1,600	14.0	1,000	13.2	103.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	10,676,900 株	27年3月期	10,660,100 株
28年3月期2Q	961,890 株	27年3月期	961,890 株
28年3月期2Q	9,704,979 株	27年3月期2Q	9,682,360 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成27年10月29日(木)に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催いたします。決算補足説明資料はTDnetで開示するとともに、当社ホームページ(<http://www.softbanktech.co.jp/corp/ir/>)にも掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	7
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	7
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	10
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

				(百万円)	(円)
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1株当たり四半期(当期)純利益
平成28年3月期第2四半期	19,640	650	645	345	35.59
平成27年3月期第2四半期	19,678	572	541	330	34.13
増減率	△0.2%	13.5%	19.3%	4.5%	4.3%
(参考)平成27年3月期	39,816	1,398	1,403	883	91.15

ソフトバンク・テクノロジーグループの当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高19,640百万円（前年同期比△0.2%）、営業利益650百万円（前年同期比+13.5%）、経常利益645百万円（前年同期比+19.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益345百万円（前年同期比+4.5%）となりました。

当期の業績に関する主な増減要因は、以下のとおりです。

(a) 売上高

売上高は19,640百万円となり、前年同期と比較して37百万円（前年同期比△0.2%）減少しました。当社単体においてプラットフォームソリューション事業の機器販売、及びシステムインテグレーション事業のシステム開発案件が減少しましたが、各事業の運用保守サービス案件が増加したことにより、売上高は前期並みとなりました。

(b) 限界利益（注）

限界利益は5,445百万円となり、前年同期と比較して343百万円（前年同期比+6.7%）増加しました。また、限界利益率は27.7%となり、前年同期と比較して1.8ポイント向上しました。事業構造の転換が着実に進展するとともに、自社開発のコンテンツやサービス提供を行う子会社各社が利益率の向上に貢献しております。

（注）限界利益＝売上高－変動費（売上とともに変化する商品仕入や外注費、物流費等）

(c) 固定費

固定費は4,795百万円となり、前年同期と比較して266百万円（前年同期比+5.9%）増加しました。これは主に、当社単体における従業員の増員と、平成26年7月にミラクル・リナックス(株)を子会社化したことによるものです。

(d) 営業利益

上記の結果、営業利益は650百万円となり、前年同期と比較して77百万円（前年同期比+13.5%）増加しました。

(e) EBITDA（注）

EBITDAは1,129百万円となり、前年同期と比較して63百万円（前年同期比+5.9%）増加しました。これは主に、事業拡大のための投資と子会社の増加によるものです。

（注）EBITDA＝営業損益＋減価償却費＋のれん償却費

(f) 営業外損益

営業外損益は4百万円の損失となり、前年同期と比較して26百万円（前年同期は31百万円の損失）改善しました。これは主に、投資事業組合運用損が減少したことによるものです。

(g) 経常利益

上記(d)～(f)の結果、経常利益は645百万円となり、前年同期と比較して104百万円（前年同期比+19.3%）増加しました。

(h) 特別損益

特別損益は13百万円の利益となり、前年同期と比較して14百万円（前年同期は0百万円の損失）増加しました。これは主に、投資有価証券売却益が発生したことによるものです。

(i) 税金等調整前四半期純利益

上記(g)～(h)の結果、税金等調整前四半期純利益は659百万円となり、前年同期と比較して118百万円（前年同期比+21.9%）増加しました。

(j) 法人税等合計

法人税等合計は277百万円となり、前年同期と比較して81百万円（前年同期比+42.0%）増加しました。

(k) 親会社株主に帰属する四半期純利益

上記(i)～(j)の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は345百万円となり、前年同期と比較して14百万円（前年同期比+4.5%）増加しました。

当社の報告セグメントは、「ICTサービス事業」の単一セグメントとしており、「ICTサービス事業」を構成する主要なサービスについては、次のとおりであります。

セグメント	サービス区分	主なサービスの内容	主な事業会社の名称
ICT サービス 事業	デジタル マーケティング	<ul style="list-style-type: none"> ・ECサイト運営代行サービス、フロントセットの開発・販売及びウェブフロントサービスの提供 ・ウェブサイトの構築、アクセスログ解析ツール、データ解析及びコンサルティングサービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトバンク・テクノロジー(株) ・フロントワークス(株) ・(株)環
	プラットフォーム ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> ・IT基盤の構築と運用保守サービス、リナックスソリューションの提供 ・脆弱性診断テストや標的型攻撃対策サービス、電子証明書を利用した認証や暗号化サービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトバンク・テクノロジー(株) ・サイバートラスト(株) ・ミラクル・リナックス(株)
	システム インテグレーション	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムの開発と運用保守サービス、タブレット端末やスマートフォン、ロボット用アプリケーションの開発 ・マイクロソフト社製品を軸とした情報システムのクラウド移行支援、親和性の高い自社クラウドサービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトバンク・テクノロジー(株) ・M-SOLUTIONS(株)

なお、一部のサービスに関するサービス区分と、限界利益における各子会社との内部取引消去額の分配方法について見直しを行ったため、各サービス区分の前年同期の売上高及び限界利益の金額は現在の計上方法に則して算出しております。

① デジタルマーケティング

(百万円)

	前年同期	当第2四半期	増減	増減率
売上高	9,359	10,457	1,097	11.7%
限界利益	1,326	1,675	349	26.3%

＜ 主なサービス内容 ＞

・ ECサービス

シマンテックストアの運営代行や、フォントセットの開発・販売、ウェブフォント及びウェブフォントプラットフォームサービスを提供しています。

・ データアナリティクス

ウェブサイトのコンテンツ管理システムの構築とアクセスログ解析、データを蓄積・加工・分析するBIツール、及びそれらに付随するコンサルティングサービスを提供しています。加えて、社内ログの分析サービスや広告費の効果測定サービス等も提供しています。

＜ 当事業の業績概況 ＞

当事業の売上高は10,457百万円となり、前年同期と比較して1,097百万円（前年同期比+11.7%）増加しました。これは、シマンテックストアの売上高が好調に推移したことに加え、ウェブアクセス解析ツール及びそのコンサルティングサービスに関する受注が増加したことによるものです。また、デジタルフォントの企画・開発・販売を行う子会社フォントワークス(株)も増収に寄与しました。

限界利益は1,675百万円となり、前年同期と比較して349百万円（前年同期比+26.3%）増加しました。シマンテックストア事業及びデータアナリティクス事業の売上高伸長と、フォントワークス(株)の増収に伴い増益となりました。

② プラットフォームソリューション

(百万円)

	前年同期	当第2四半期	増減	増減率
売上高	6,159	5,342	△817	△13.3%
限界利益	1,995	1,934	△61	△3.1%

＜ 主なサービス内容 ＞

・ プラットフォームソリューション

サーバーやネットワーク機器の販売、IT基盤の構築と運用保守サービスの提供、リナックスOSやデジタルサイネージシステム、統合監視ツール及びサポートサービスを提供しています。

・ セキュリティソリューション

セキュリティ運用監視や標的型攻撃対策、各種診断サービス、その他セキュリティ商材を組み合わせた包括的なソリューション、電子証明書を利用した通信の暗号化や認証サービス等を提供しています。

＜ 当事業の業績概況 ＞

当事業の売上高は5,342百万円となり、前年同期と比較して817百万円（前年同期比△13.3%）減少しました。これは主に、前年第3四半期以降プラットフォームソリューション事業において機器販売が大幅に減少したことによるものです。

限界利益は1,934百万円となり、前年同期と比較して61百万円（前年同期比△3.1%）減少しました。プラットフォームソリューション事業における機器販売の減少に伴い、減益となりました。

③ システムインテグレーション

(百万円)

	前年同期	当第2四半期	増減	増減率
売上高	4,158	3,840	△318	△7.7%
限界利益	1,779	1,835	56	3.1%

〈 主なサービス内容 〉

・システムインテグレーション

情報システムの開発とそれに付随する運用保守サービスを提供しています。また、スマートフォンやタブレット端末、ロボット向けのアプリケーション及び開発支援ツールの開発・販売を行っています。

・マイクロソフトソリューション

マイクロソフト社製品を軸に、顧客企業のコミュニケーションシステムのクラウド移行支援や、移行後の運用監視サービス、ユーザーの利便性と企業のセキュリティを両立する自社サービスなどを提供しています。

〈 当事業の業績概況 〉

当事業の売上高は3,840百万円となり、前年同期と比較して318百万円（前年同期比△7.7%）減少しました。これは主に、ソフトバンクグループ企業向けの情報システム開発案件が減少したことによるものです。

限界利益は1,835百万円となり、前年同期と比較して56百万円（前年同期比+3.1%）増加しました。システムインテグレーション事業の利益率が改善したこと、またマイクロソフトソリューション事業における運用保守サービスの受注が増加したことにより増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(百万円)

	平成27年3月期	平成28年3月期第2四半期	(参考) 平成27年3月期第2四半期
総資産	22,175	21,219	20,891
純資産	10,974	10,846	10,354
自己資本比率	46.0%	48.3%	46.2%

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末より955百万円減少して21,219百万円となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末より774百万円減少しました。固定資産は、投資有価証券の減少などにより、前連結会計年度末より181百万円減少しました。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末より827百万円減少して10,373百万円となりました。流動負債は、買掛金、未払金の減少などにより、前連結会計年度末より714百万円減少しました。固定負債は、長期借入金の減少などにより、前連結会計年度末より113百万円減少しました。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、子会社株式の追加取得に伴う非支配株主持分の減少などにより、前連結会計年度末より128百万円減少して10,846百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(百万円)

	平成27年3月期 第2四半期	平成28年3月期 第2四半期	(参考) 平成27年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,864	936	2,665
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,195	△319	△2,334
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,819	△705	1,595
現金及び現金同等物の増減額	1,489	△91	1,945
現金及び現金同等物期末残高	5,242	5,607	5,698

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末より91百万円減少して5,607百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は936百万円となりました。これは、法人税等の支払により445百万円、仕入債務の減少により277百万円の資金の減少があったものの、税金等調整前四半期純利益が659百万円、減価償却費が396百万円あったことに加え、売上債権の減少により841百万円の資金の増加があったこと等によるものです。

前連結会計年度との比較では、売上債権の増減額で813百万円資金回収が減少したこと等により、得られた資金は927百万円減少しております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は319百万円となりました。これは、有形固定資産の取得で151百万円、無形固定資産の取得で212百万円の資金使用があったこと等によるものです。

前連結会計年度との比較では、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が1,027百万円、有形固定資産の取得による支出が706百万円減少したこと等により、使用した資金は1,876百万円減少しております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は705百万円となりました。これは、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得で257百万円、配当金の支払で193百万円の資金使用があったこと等によるものです。

前連結会計年度との比較では、長期借入れによる収入が1,600百万円減少、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出が257百万円増加したこと等により、使用した資金は2,525百万円増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

なお、平成27年4月27日に公表しました平成28年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金が17百万円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,788,629	5,706,499
受取手形及び売掛金	6,941,512	6,100,929
商品	137,437	157,874
仕掛品	208,104	319,239
繰延税金資産	390,507	357,728
その他	945,805	993,424
貸倒引当金	△11,958	△9,838
流動資産合計	14,400,039	13,625,857
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	528,219	556,336
工具、器具及び備品(純額)	874,792	827,062
建設仮勘定	2,445	-
有形固定資産合計	1,405,457	1,383,398
無形固定資産		
のれん	1,366,627	1,283,919
ソフトウェア	1,082,432	1,058,274
ソフトウェア仮勘定	79,762	110,409
顧客関連資産	654,610	622,678
その他	311,052	296,698
無形固定資産合計	3,494,485	3,371,979
投資その他の資産		
投資有価証券	1,185,692	993,993
繰延税金資産	260,729	316,489
その他	1,486,627	1,585,358
貸倒引当金	△57,793	△57,361
投資その他の資産合計	2,875,256	2,838,479
固定資産合計	7,775,199	7,593,857
資産合計	22,175,238	21,219,714

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,624,483	4,347,245
1年内返済予定の長期借入金	324,600	324,600
リース債務	69,992	70,196
未払金	836,331	470,700
未払法人税等	460,030	274,398
賞与引当金	549,422	506,577
役員賞与引当金	-	28,560
受注損失引当金	8,574	-
瑕疵補修引当金	-	2,297
資産除去債務	10,330	-
その他	1,740,095	1,884,845
流動負債合計	8,623,860	7,909,419
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	963,450	801,150
リース債務	502,382	467,111
繰延税金負債	146,953	133,627
長期前受金	341,665	440,101
退職給付に係る負債	105,346	68,800
資産除去債務	240,906	256,208
その他	176,460	197,133
固定負債合計	2,577,163	2,464,133
負債合計	11,201,023	10,373,552
純資産の部		
株主資本		
資本金	645,033	653,900
資本剰余金	722,682	714,223
利益剰余金	9,418,346	9,569,772
自己株式	△747,634	△747,634
株主資本合計	10,038,426	10,190,261
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	164,346	47,703
為替換算調整勘定	5,323	6,921
その他の包括利益累計額合計	169,670	54,624
新株予約権	86,341	96,586
非支配株主持分	679,777	504,689
純資産合計	10,974,215	10,846,162
負債純資産合計	22,175,238	21,219,714

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	19,678,614	19,640,632
売上原価	16,716,465	16,490,392
売上総利益	2,962,148	3,150,240
販売費及び一般管理費	2,389,293	2,499,933
営業利益	572,855	650,306
営業外収益		
受取利息	444	205
受取配当金	2,400	-
持分法による投資利益	7,714	281
為替差益	7,695	2,960
雑収入	4,848	6,647
営業外収益合計	23,102	10,095
営業外費用		
支払利息	15,662	12,974
投資事業組合運用損	37,643	779
雑損失	1,069	801
営業外費用合計	54,375	14,555
経常利益	541,581	645,846
特別利益		
投資有価証券売却益	-	11,500
退職給付制度改定益	-	4,029
特別利益合計	-	15,529
特別損失		
減損損失	547	1,930
特別損失合計	547	1,930
税金等調整前四半期純利益	541,034	659,445
法人税、住民税及び事業税	322,555	257,553
法人税等調整額	△127,319	19,594
法人税等合計	195,236	277,147
四半期純利益	345,798	382,297
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	330,466	345,390
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,331	36,906
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31,164	△116,680
為替換算調整勘定	728	△1,034
持分法適用会社に対する持分相当額	-	2,312
その他の包括利益合計	31,892	△115,403
四半期包括利益	377,691	266,894
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	362,359	230,345
非支配株主に係る四半期包括利益	15,331	36,549

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	541,034	659,445
減価償却費	421,054	396,009
減損損失	547	1,930
のれん償却額	71,915	82,707
株式報酬費用	20,939	14,206
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,140	△2,551
賞与引当金の増減額 (△は減少)	24,972	△42,845
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	29,433	28,560
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,085	△36,545
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	19,106	△8,574
瑕疵補修引当金の増減額 (△は減少)	-	2,297
受取利息及び受取配当金	△2,844	△205
支払利息	15,662	12,974
持分法による投資損益 (△は益)	△7,714	△281
投資事業組合運用損益 (△は益)	37,643	779
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△11,500
売上債権の増減額 (△は増加)	1,654,976	841,008
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△167,898	△135,192
営業債権の増減額 (△は増加)	△107,243	△178,454
仕入債務の増減額 (△は減少)	△894,078	△277,238
未払消費税等の増減額 (△は減少)	139,203	47,119
営業債務の増減額 (△は減少)	316,491	△2,334
その他	1,344	3,118
小計	2,118,490	1,394,434
利息及び配当金の受取額	2,851	205
利息の支払額	△15,662	△12,974
法人税等の支払額	△241,525	△445,245
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,864,153	936,419
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△858,137	△151,911
無形固定資産の取得による支出	△352,834	△212,536
投資有価証券の取得による支出	△103,646	-
投資有価証券の売却による収入	7,540	32,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,027,839	-
貸付金の回収による収入	150	900
差入保証金の差入による支出	△32,924	△20
差入保証金の回収による収入	275,524	31,862
資産除去債務の履行による支出	△97,177	△10,330
その他	△6,000	△9,267
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,195,346	△319,302
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,600,000	-
長期借入金の返済による支出	△162,300	△162,300
社債の償還による支出	-	△100,000
株式の発行による収入	7,404	13,977
配当金の支払額	△193,495	△193,679
新規取得設備のリース化による収入	629,430	-
リース債務の返済による支出	△61,242	△35,066
非支配株主からの払込みによる収入	-	29,400
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△257,817
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,819,797	△705,484
現金及び現金同等物に係る換算差額	728	△3,029
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,489,333	△91,397
現金及び現金同等物の期首残高	3,752,685	5,698,478
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,242,019	5,607,081

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。